

隠岐諸島の島前地域における 自然環境の保全体制の構築

活動地域  島根県

ひろげる助成

3年目

実践

島前地域内調査 **88回**

島あるき
ハンドブック作成 **1冊**

今年度計画の達成度 **95%**

全体計画の達成度 **80%**



地元高校生による自然保全グループ発足

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

新型コロナウイルスの影響で、拠点施設のない西ノ島・知夫里島で、普及啓発のための自然観察会等の保全活動を実施することが難しかった。

■工夫した点

人と接触せずに普及啓発活動ができるように、自然観察会を撮影しYouTubeにアップロードした。また、自然観察会ではハンドブックを活用できるようにした。

課題

隠岐島前地域の住民は自然と関わりながら生活しているため、独自の生態系であることを認識していない。そのため、環境改変等で特殊な自然環境が破壊される可能性がある。

目標

隠岐島前地域の自然環境の現状が整理できる調査が行われ、島前地域の自然環境の現状が把握される。そして、各島ごとに島の環境に合わせた保全活動の実施体制が構築される。

活動内容と成果

【調査活動】

- 島前地域3島での生物調査実施回数：88回
- 島前の生物ハンドブック作成

【普及啓発活動】

- 自然観察会・保護活動回数：7回
- 外来種を活用したワークショップ開催：3回
- 地元高校生の有志により自然保全グループ「BACK TO THE NATURE」発足
- 調査による新知見を論文、隠岐の文化財で3項目発表



外来種ワークショップ中の駆除活動



生物編完成！ハンドブック3部作がそろう

全助成期間の活動を振り返って

隠岐島前地域内の動植物についてまとめてある図鑑・ハンドブック等がなかったため、保全及び地域性の内容も含まれているハンドブックを作成することができたのは、島前地域の自然環境保全のための大きな成果だと感じている。また、中ノ島では隠岐島前高校生を中心とした自然保全グループ「BACK TO THE NATURE」の発足は、今後の地域の保全活動の大きな一歩となったと考える。

〒684-0403
島根県隠岐郡海士町大字海士5328-6
電話：08514-2-1313
E-mail：sizenmura@navy.plala.or.jp
HP：http://www.sizenmura.com/



今後の展望

隠岐島前地域内の調査活動・自然保全活動は外部団体とも連携し継続的に行っていく。隠岐ユネスコ世界ジオパークの活動の中に環境保全も含まれているため、協働することによって普及啓発活動の質の向上を図る。また、調査結果や作成したハンドブックを自然保全活動だけでなく、学校教育やエコツアーに活用していくことを考えている。

